

<b>Title</b>	著訳者紹介
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.45 : 3-8
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2017">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2017</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archive

## 〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院大学アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教主任兼助教授を経て、現在、聖学院大学学長。その他荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著)、『神を仰ぎ人に仕う』(共著)、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』(共著)ほか、著書・論文多数。

暉峻 衆三 てるおか・しゅうぞう

1924年岡山県倉敷市生まれ。1947年東京帝国大学(現・東京大学)農学部農業経済学科卒。農学博士(東京大学)。東京教育大学(現・筑波大学)、信州大学、宇都宮大学、東亜大学大学院教授などを歴任。農業・農協問題研究所理事長を経て、現在、日本農業経済学会名誉会員。

〔主要著書〕『日本農業問題の展開』(上・下、東京大学出版会、1970年、1984年)、『日本資本主義と農業保護政策』(編著、御茶の水書房、1990年)、『現代資本主義と食料・農業』(上・下、共編著、大月書店、1995年)、『日本の農業150年——1850～2000年——』(編著、有斐閣、2003年)、Agriculture in the Modernization of Japan (1850–2000), ed., Manohar, India, 2008. など多数。

田 中 浩 たなか・ひろし

1926年佐賀県生まれ。幼年時代を朝鮮のソウル(旧京城)、ウォンサン(旧元山)で過ごし、旧制佐賀中学、陸軍経理学校予科、旧制佐賀高等学校文科乙類、東京文科大学哲学科卒。東京教育大学、静岡大学、一橋大学、大東文化大学教授、立命館大学客員教授を経て、現在、聖学院大学大学院・総合研究所教授。一橋大学名誉教授。法学博士。

〔著書〕『ホップズ研究序説——近代国家論の生誕』(御茶の水書房、1982年)、『長谷川如是閑研究序説——社会派ジャーナリストの誕生』(未来社、1989年)、『国家と個人——「市民革命から現代まで」』(岩波書店、1990年)、『新版国家と個人』(2008年)、『カール・シュミット——魔性の政治学』(未来社、1992年)、『近代日本と自由主義——論吉・卯吉・羯南・如是閑』(岩

波書店, 1993年), 『近代政治思想史——思想と歴史のダイナミズム』(講談社学術文庫, 1995年), 『戦後日本政治史』(講談社学術文庫, 1996年), 『ホッブズ』(研究社, 1998年), 『戦後世界政治史』(講談社, 1999年), 『日本リベラリズムの系譜——福沢諭吉・長谷川如是閑・丸山真男』(朝日新聞社, 2000年), 『20世紀という時代』(日本放送出版協会, 2000年), 『20世紀日本を創った思想家たち——勝海舟から丸山真男まで』(日本放送出版協会, 2002年), 『第三の開国は可能か』(日本放送出版協会, 2003年), 『ヨーロッパ知の巨人たち——古代ギリシアから現代まで』(日本放送出版協会, 2006年), 『ホッブズ』(清水書院, 2006年), 『思想学事始め——戦後社会科学形成史の一断面』(未来社, 2006年)。

〔編書〕『国家思想史(上)・(下)』(青木書店, 共編, 1974年), 『社会契約説』(新評論, 共編, 1974年), 『日本の国家思想(上)・(下)』(青木書店, 共編, 1980年), 『社会変動と法』(勁草書房, 共編, 1981年), 『社会思想事典』(中央大学出版部, 共編, 1982年), 『近代日本のジャーナリスト』(御茶の水書房, 1987年), 『現代世界と国民国家の将来』(御茶の水書房, 1990年), 『近代文明批判』(社会評論社, 共編, 1990年), 『現代思想とはなにか』(龍星出版, 1996年), 『民族と国家の国際比較研究』(未来社, 共編, 1997年), 『現代世界と福祉国家』(御茶の水書房, 1997年), 『思想学の現在と未来』(未来社, 2009年)。

〔訳書〕T・ホッブズ『リヴァイアサン』(河出書房新社, 共訳, 1966年), ミル「代議制統治論」(河出書房新社, 共訳, 1967年), C・シュミット『政治的なものの概念』(未来社, 共訳, 1970年), ミルトン『イングランド宗教改革論』(未来社, 共訳, 1976年), E・ウィリアムズ『帝国主義と知識人』(岩波書店, 1979年), シュミット『政治神学』(未来社, 共訳, 1981年), J・ミルトン『教会統治の理由』(未来社, 共訳, 1985年), シュミット『独裁』(未来社, 共訳, 1991年), R・タック『トマス・ホッブズ』(未来社, 共訳, 1995年), C・ピアソン『曲がり角にきた福祉国家』(未来社, 共訳編, 1996年), ミルトン『離婚の教理と規律』(未来社, 共訳, 1997年), T・ホッブズ『哲学者と法学徒との対話』(岩波文庫, 共訳, 2002年), M・フィルプ『トマス・ペイン』(未来社, 共訳, 2007年), R・クーペルス編『EU時代の到来』(未来社, 共訳編, 2009年)など多数。

佐野 正子 さの・まさこ

国際基督教大学教養学部卒。同大学院比較文化研究科博士前期課程修了, 東京神学大学大学院神学研究科博士前期課程修了, 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所博士後期課程修了。Ph.D. (聖学院大学)。現在, 聖学院大学政治経済学部チャブレン, 同学部准教授。

〔著書〕『言葉と想像力』(共著, 開文社出版), 『歴史と神学』(共著, 聖学院大学出版会)。

〔論文〕「ピューリタン革命期におけるジョン・オウエンの教会論と終末論——『キリストの国』をめぐって」(博士論文), 「一七世紀オックスフォード大学におけるピューリタンの改革」(『キリスト教と諸学』21号) 他。

〔訳書〕A・D・リンゼイ『わたしはデモクラシーを信じる』(共訳, 聖学院大学出版会), M・L・スタックハウス『公共神学と経済』(共訳, 聖学院大学出版会), アリスター・マクグラス『キリスト教神学資料集』上・下(共訳, キリスト新聞社)。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部Master of Theological Studies修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学総合研究所准教授。

〔著書〕 *Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America). 『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』（日本キリスト教団出版局）、『人間の生と教育』（創言社）ほか。

〔訳書〕 ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』（教文館）、『理想の大学』（創言社）ほか。

〔論文〕 “Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. ほか。

金子 晴勇 かねこ・はるお

1932年静岡県生まれ。1962年京都大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、聖学院大学大学院客員教授。文学博士（京都大学）。

〔主要著書〕 『ルターの間人学』、『アウグスティヌスの人間学』、『近代自由思想の源流』、『マックス・シェーラーの間人学』、『ルターとドイツ神秘主義』、『近代人の宿命とキリスト教』、『エラスムスとルター』、『アウグスティヌスの恩恵論』、『ヨーロッパ人間学の歴史』ほか。

〔訳書〕 エラスムス『エンキリディオオン』、ルター『生と死の講話』、アウグスティヌス『ペラギウス派駁論集(1), (2), (3), (4)』、『ドナティスト駁論集』、『ヨハネによる福音書講解説教(2)』、ペルナル『雅歌の説教』ほか。

郡司 篤晃 ぐんじ・あつあき

1937年茨城県水戸市生まれ。東京大学医学部卒、同大学院卒。医学博士。東京女子医科大学日本心臓血圧研究所研究部を経て1975年に厚生省入省、その後医務局総務課、環境庁、鹿児島県衛生部長、厚生省生物製剤課長、健康増進栄養課長を歴任。1985年より東京大学医学部保健管理学教授。現在、聖学院大学大学院教授。

〔著書〕 『医療システム研究ノート』（丸善プラネット）、『保健医療計画ハンドブック』（編著・第一法規）、『身体活動・不活動の健康影響』（編著・第一出版）など。

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウクスブルク大学哲学・社会学部博士課程修了。Dr. Phil. (アウクスブルク大学), 博士(文学)(京都大学)。現在, 聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕Paradox und Prolepsis, Marburg, 1996, 1999 (2.Aufl.), 『アポロゲティークと終末論』(北樹出版), 『政治神学再考』(聖学院大学出版会), 『文化は宗教を必要とするか』(教文館), Harnack und seine Zeit, Marburg, 2002, 『超越と認識』(創文社) など。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

1943年生まれ。アンドリューズ大学大学院修士課程, 東京神学大学大学院博士課程修了。神学博士(東京神学大学)。三育学院短期大学教授・学長, エモリー大学客員研究員を経て, 現在, 聖学院大学総合研究所・大学院教授。

〔著訳書〕『キリスト教を理解する』(福音社), 『教育の神学』(共著, ヨルダン社), 『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』(聖学院大学出版会), C・C・ブラウン『ニーバーとその時代』(聖学院大学出版会), J・ウィッテ『自由と家族の法的基礎』(共・監訳, 聖学院大学出版会) ほか。

森泉 弘次 もりいずみ・こうじ

1934年東京生まれ。早稲田大学大学院(ロシア文学), 北海道大学大学院(英米文学)に学び, 現在, 青山学院女子短期大学名誉教授。

〔著書〕『幸せが獵犬のように追いかけてくる——A. J. ヘッセルの生涯と思想』(教文館, 2001年) ほか。

〔訳書〕ブルーノ・ベッテルハイム『フロイトのウィーン』(みすず書房, 1992年), ピーター・ゲイ『歴史学と精神分析——フロイトの方法的有効性』(共訳, 岩波書店, 1995年) ほか。

松尾 秀哉 まつお・ひでや

1965年生まれ。一橋大学社会学部卒。東邦ガス株式会社, 株式会社東海メディカルプロダクツ勤務を経て, 2007年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。現在, 聖学院大学政治経済学部准教授。専攻はベルギー政治史, 比較政治学, キリスト教民主主義論。

〔論文・翻訳〕「キリスト教民主主義政党的「調停の政治」メカニズム——ベルギーにおける初期福祉国家改革期のカトリック党の党内政治過程——」『国際関係論研究』(2000年10月), 「「調停の政治」再考——ベルギー・キリスト教民主主義政党的六〇年代——」『聖学院大学総合

研究所紀要』第39号(2007年9月),「階級闘争から言語紛争へ——歴史的コンテクストにおける「統治連合」——」『聖学院大学総合研究所紀要』第40号(2008年2月),キャロル・マーション(松尾秀哉訳)「政党派閥と連合政権——イタリア・キリスト教民主党における閣僚ポストの配分」『レヴァイアサン』第29号(2001年秋),「コンセンサス・デモクラシーにおける『ワンマン』型リーダーの台頭」日本比較政治学会編『年報比較政治学 第10号 リーダーシップの比較政治学』,早稲田大学出版(2008年)など。

宮本 悟 みやもと・さとる

1970年生まれ。同志社大学法学部卒。ソウル大学政治学科修士課程修了〔政治学修士号〕。神戸大学法学研究科博士後期課程修了〔博士号(政治学)〕。日本国際問題研究所研究員を経て、現在、聖学院大学総合研究所准教授。専攻は政軍関係論,安全保障論,朝鮮半島研究。

〔共著・著書〕“Economic Sanctions by Japan against North Korea: Consideration of the Legislation Process for FEFTCL (Feb. 2004) and LSMCIPES (June. 2004),” International Journal of Korean Unification Studies, Vol.15, No2, 2006 (December 31, 2006) pp.21-46, 「北朝鮮における政軍関係—なぜ北朝鮮の軍人はクーデターを起こさなかったのか?—」『年報政治学』2005年第2号(2006年3月), pp.195-215, 「第4章 国際社会の援助」中川雅彦編『朝鮮社会主義経済の現在』(アジア経済研究所, 2009年3月) pp.71-87など。

高 萬松 こう・まんそん

1953年生まれ。東京神学大学大学院博士前期課程修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。博士(アメリカ・ヨーロッパ文化学)。聖学院大学総合研究所助教。

〔著書〕『フォーサイスの神義論』(基督教連合新聞社, ソウル・2007年, 韓国語)。

〔訳書〕フォーサイス『バルンキドワ ク ヨルメ』(大韓基督教出版社, ソウル・1999年) (The Soul of Prayerの韓国語翻訳)。

〔論文〕「P・T・フォーサイスにおける戦争倫理」(古屋安雄他編『歴史と神学——大木英夫教授喜寿記念献呈論文集 下巻』聖学院大学出版会, 2006年)。

松本 周 まつもと・しゅう

東京神学大学大学院博士前期課程修了。現在, 聖学院大学大学院博士後期課程修了, 博士(学術)。

〔論文〕「ラインホルド・ニーバーにおけるpower概念について」(東京神学大学総合研究所『紀要』8, 2005年), 「神学と社会福祉——ラインホルド・ニーバーの視点から」(『キリス

ト教社会福祉学研究』37, 2005年), 「日本におけるピューリタニズム倫理の受容」(『ピューリタニズム研究』2, 2008年), 「終末論と教会形成——熊野義孝と大木英夫の比較検討」(『聖学院大学総合研究所紀要』42, 2008年) ほか。

#### 土方 透 ひじかた・とおる

1956年生まれ。社会学博士。ハノーファー哲学研究所客員教授(1993～95年), ヴュルツブルク大学哲学部客員教授(2000～01年)。現在, 聖学院大学教授, 政治経済学部長。カッセル大学社会科学講座客員教授。Soziale Systeme: Zeitschrift für soziologische Theorie 学術顧問。専攻は理論社会学・法社会学・宗教社会学・社会システム理論。

〔著書〕『ルーマン／来るべき知』(編著, 勁草書房), 『リスク——制御のパラドクス』(共編著, 新泉社), 『宗教システム／政治システム——正統性のパラドクス』(編著, 新泉社), *Riskante Strategien: Beiträge zur Soziologie des Risikos* (共編著, Opladen, 1997) ほか。

#### 名部 圭一 なべ・けいいち

1966年生まれ。関西大学大学院社会学研究科単位取得退学。専攻: 理論社会学, 近代社会論。現在, 関西学院大学, 神戸市看護大学, 龍谷大学ほか非常勤講師。

〔著書〕『文化社会学の視座』(共著, ミネルヴァ書房, 2008年), 『現代文化の社会学 入門』(共著, ミネルヴァ書房, 2007年), 『社会文化理論ガイドブック』(共編著, ナカニシヤ出版, 2005年), 『社会学フォーラム／落ち着かない〈私〉と〈社会〉』(共著, 福村出版, 2000年)。

〔訳書〕D・オーウェン『成熟と近代——ニーチェ・ウェーバー・フーコーの系譜学』(共訳, 新曜社, 2002年)。

聖学院大学総合研究所紀要 No.45 2009

---

2009年9月30日 発行

発行者 大 木 英 夫

発行所 聖学院大学総合研究所

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1  
TEL 048-725-5524 FAX 048-781-0421

---

ISSN 0917-8856

組版 有限会社エスタリオル 印刷 望月印刷株式会社